

YL121C

120W LED投光機 (カートタイプ)

取扱説明書



ご使用前に、この説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。

機種:02520

改訂

R7.2.26 作成

< はじめに >

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
LED投光機を末長くご愛用いただけますよう、この取扱説明書を熟読の上ご使用くださいますようお願い申し上げます。
尚、発電機につきましては、発電機に付属の取扱説明書をお読みください。
また、製品の向上には絶えず努力を傾けております。従いまして製品改良のため、仕様など予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

< 目次 >

	ページ
1. 安全にお使いいただくために	2～3
2. 仕様諸元	4
3. 外形寸法図及び各部の名称	5
4. 組立	6
5. 運転準備及び運転	7～8
6. 使用上の注意	8
7. 保守・点検	9
8. よくある質問と、その対応	10

1. 安全にお使いいただくために

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書及び安全に関する注意事項をよくお読みください。

使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解の上で正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

※尚、発電機をご使用の場合は、発電機に付属の取扱説明書をよくお読みください。

1) 安全に関する表示について

本書では、運転者や他の人が障害を負ったりする可能性のある事項を下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

⚠ 危険 指示に従わないと、死亡または重大な障害に至るもの

⚠ 警告 指示に従わないと、死亡または重大な障害に至る可能性があるもの

⚠ 注意 指示に従わないと、障害を受ける可能性があるもの

2) 運転および運転上の注意

(1) 設 置

- ① 本機は転倒または落下防止のため、水平で起伏のない平坦な場所に置くか、安定の良いところに固定して使用してください。
※ 本機を不安定な状態で使用すると、転倒や落下の恐れがあり事故の原因となります。
- ② 大雨、強風（平均風速10m/s以上）等の天候でのご使用は避けてください。
※ 強風の状態：大枝が動く、電線が鳴る、傘がさしにくい状態
- ③ LED投光機は防雨型ですが、本製品を絶対に浸水させたり水中では使用しないでください。
※ 故障や、感電の原因となります。
- ④ 電線を油脂、アルコール、溶剤、薬品等に触れさせないでください。
※ 外皮が侵食され、感電・故障の原因となります。

(2) 点 灯 時

- ① LED投光機を濡れた状態で操作すると、漏電などの故障になるばかりでなく、操作の際に感電するおそれがありますので、絶対にしないでください。
- ② 作動中は電源プラグ端子に触れないでください。感電のおそれがあります。
- ③ 点灯中LEDランプを直視しない、または人に向けないでください。
※ めまいや気分が悪くなったり、目に障害があらわれる原因となります。
- ④ 鉄粉・切削屑・溶接火花等がかかる所では使用しないでください。
火災や事故の原因となります。
- ⑤ 電源電圧はAC100V±6%の範囲内の安定した電源を使用してください。
※ 立ち消え、点灯の不安定、短寿命の原因となります。

(3) 移 動

- ① 移動時はポールを下げ、器具はロープなどで固定して移動してください。
- ※ 各可動部は移動中、動かない様にしてください。

(4) 運 搬

- ① 運搬するときは投光器具を折り倒し低くしてください。
- ② 破損防止のため運搬するときは、製品を車輻に確実にロープなどで固定してください。

(5) LEDランプ《投光器具》

- ① ガスの発生する場所や可燃物の近くでは使用しないでください。
※ 火災や事故の原因になります。
- ② 周囲温度は、 -30°C ~ 40°C の範囲で使用してください。
※ 事故の原因になります。
- ③ 点灯中および消灯直後の投光器具は高温ですので、火傷をするおそれがあります。
※ 本機のご操作・収納は、必ず冷えてからおこなってください。
- ④ 入力電圧は安定した電源を使用してください。
電子部品を使用していますので発電機使用の場合は、インバーター方式の発電機を、使用してください。
※ 電圧変動の大きい発電機は故障の原因になります。

3) その他の注意事項

 警告

過労・飲酒時操作禁止

過労や睡眠不足などで体調が悪いときや、飲酒時・薬服用時は、注意力が散漫になり、事故につながるため、操作はしないでください。

きちんとした服装・保護具の着用

使用の際は装飾品など機械部品にひっかかる可能性のあるもの、また油などの付着した作業着は引火しやすいので着用してはいけません。
作業によりヘルメット・保護めがね・安全靴・マスク・手袋などを忘れずに着用してください。

改造はしないでください

弊社の承認の無い改造は、安全上問題になることがあります。
許可の無い改造に起因する、人身事故や故障については責任を負いかねます。

本体の締め付けを十分に行ってください。

落下・けがの原因となります。

 注意

高温注意

点灯中はランプが高温になるため、投光器具などに触れないでください。

落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

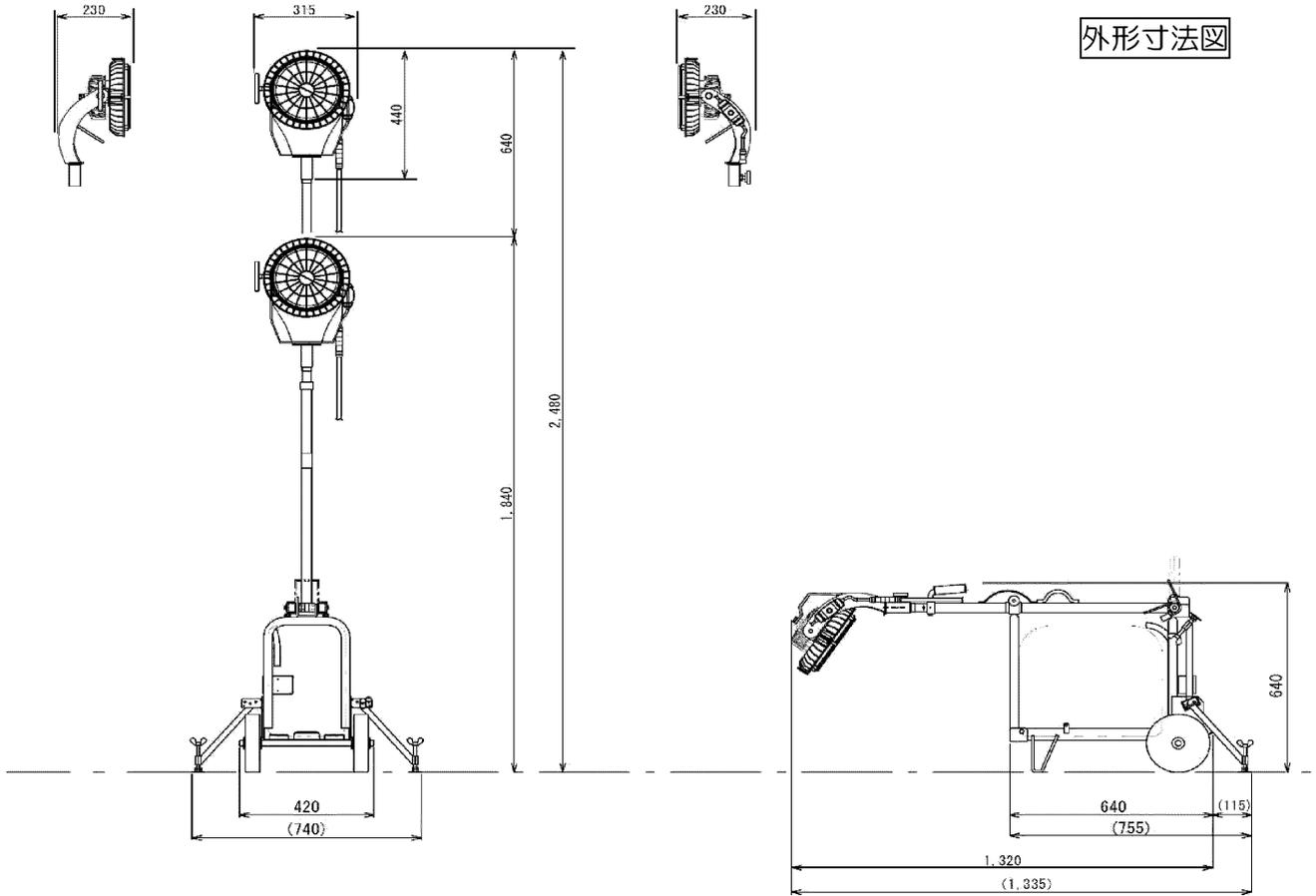
電線を無理に引っ張ったり、踏んだり、重量物をのせないでください。
感電、火災、断線の原因となります。

2. 仕様緒元

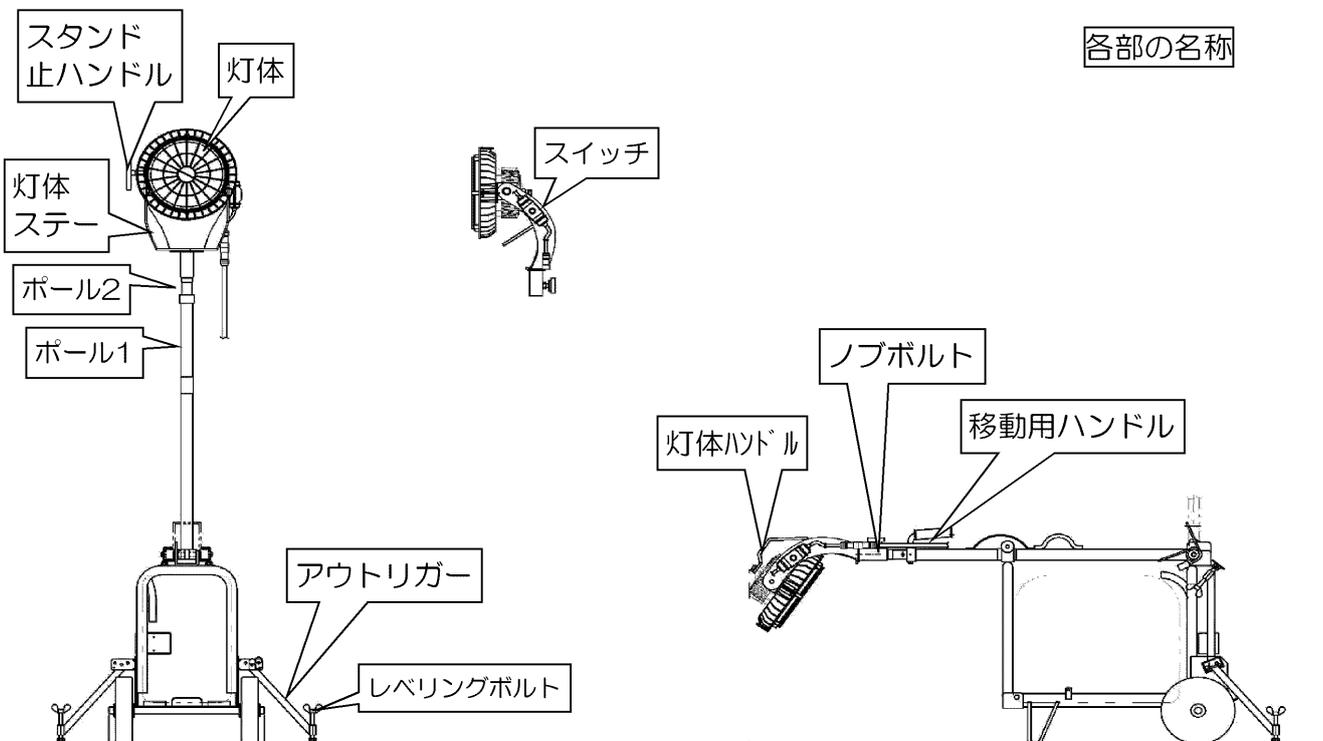
型 式	YL121C	
周波数 (HZ)	50/60 共用	
電圧(V)	AC100~240	
電流(A) 100V時	1.2	
ランプ	ランプ種類	LED
	消費電力 (W)	120 x 1
	全光束(lm)	21,000
	使用可能温度範囲 (°C)	-10 ~ 40
	ランプ色温度 (K)	5,000
ポール	ポール形式	急落下防止式伸縮2段
寸法	投光器具寸法 (LxWxH mm)	230x740x440
	最大高 (mm)	2,480
	使用時寸法LxWxH(mm)	755x740x1,840
	収納時寸法LxWxH(mm)	1,320x420x640
質量	カート (kg)	21.9
	投光器具 (kg)	6.5
	小計 (kg)	28.4
	発電機 EF900iS乾燥質量 (kg)	12.7
	合計	41.1
梱包	梱包寸法 (L x W x H mm)	1,050 x 460 x 730
	梱包質量 (kg) 発電機なし	35.2
	梱包種類	段ポール箱

3. 外形寸法図・各部の名称

(単位：mm)



外形寸法図

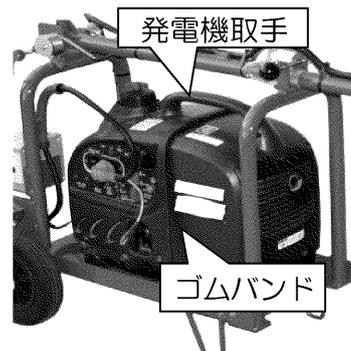


各部の名称

4.組立

4. 組立

- 1) 発電機を収納状態写真のように台車に載せます。
- 2) 台車に付いているゴムバンドを発電機取手の中を通し反対側のフックに引っ掛けて、発電機を固定します。



⚠ 注 意

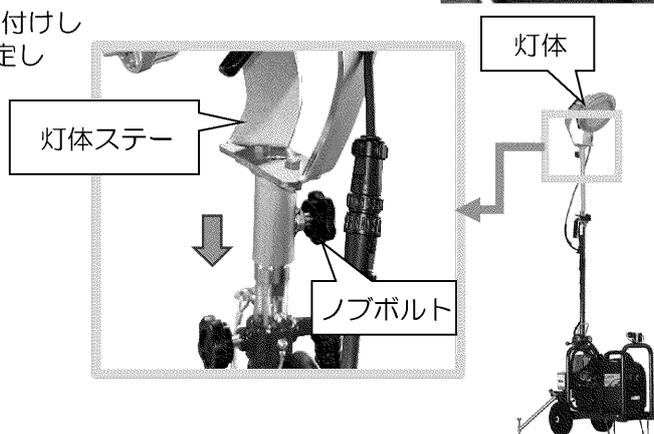
※ゴムバンドは強いバンドです。作業の時は片方の手で引きながらもう片方の手でフックを掛けるように作業してください。
 ※バンドの張力でケガをしないよう注意してください。
 ※発電機取手は右記写真を参考願います。

- 3) 電源プラグを発電機のコンセントに差し込んでください。

発電機のコンセントに、電源プラグを差し込んでください



- 4) ポールの先端に灯体ステーを挿入し灯体部を取付けしその後、ノブボルトでポールと灯体ステーを固定してください。



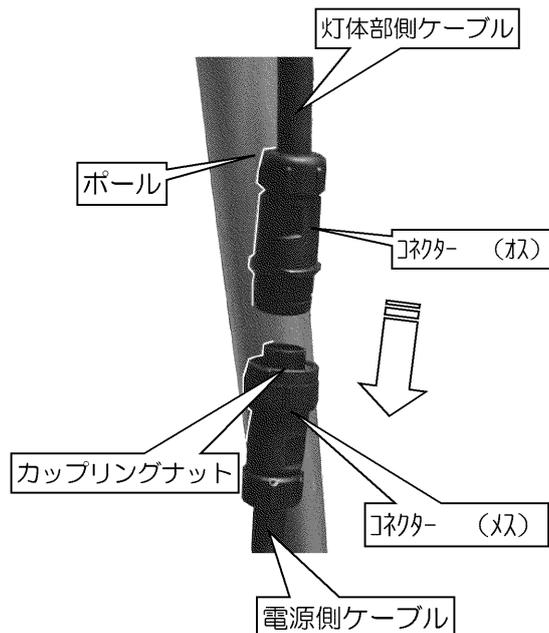
- 5) 灯体部とワイヤリングボックスからそれぞれ出ているコネクターを接続してください。

装着

コネクター (♂) とコネクター (♀) のガイドを合わせ、まっすぐに差し込みます。(5本のキー方式の為、正しい位置でガイドを合わせます。) カップリングナットを右に回しコネクターを固定してくだ

分離

矢印の通り、カップリングナットを左へ回転させナットを外し、コネクターを引抜きます。



5. 運転準備及び運転

1) 投光機の本体の移動

- (1) ポール収納ロック装置のニギリの引き金具を引き抜き、ロックを解除し、ポールの移動用ハンドルを持ってポールを『パチン』と音がするところまで立ててください。

①ニギリの引き金具を引く



ポール収納ロック装置拡大写真

②ポールを持ち上げる



移動用ハンドル

⚠ 注 意

※固定位置に来れば自動的にポールがロックされます。このとき、ポールを少し動かしてロックされているか確認願います。

※灯体部を組み付けてから又は片方の手でポールを押さえながら、ロックピンを引いてください。ポールが急に起き上がりケガをする場合があります。

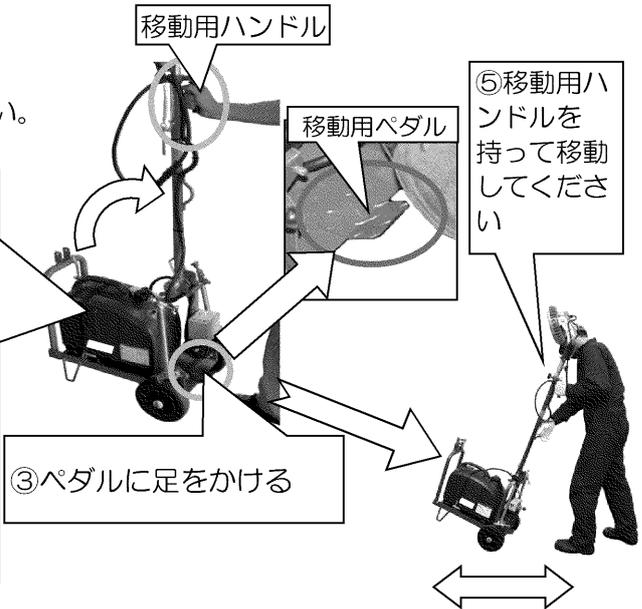
- (2) 移動用のペダルに足をかけ、ポールの移動用ハンドルを後ろに引き投光機を移動してください。

⚠ 注 意

※投光機を移動するため倒す時は倒しすぎないでください。
※発電機の燃料又はオイルがエンジンから漏れる場合があります。

④移動用ハンドルを持って、ペダルで押さえた足を軸に矢印の方向に倒してください

※注意：倒す方向に障害物がない事確認して作業してください



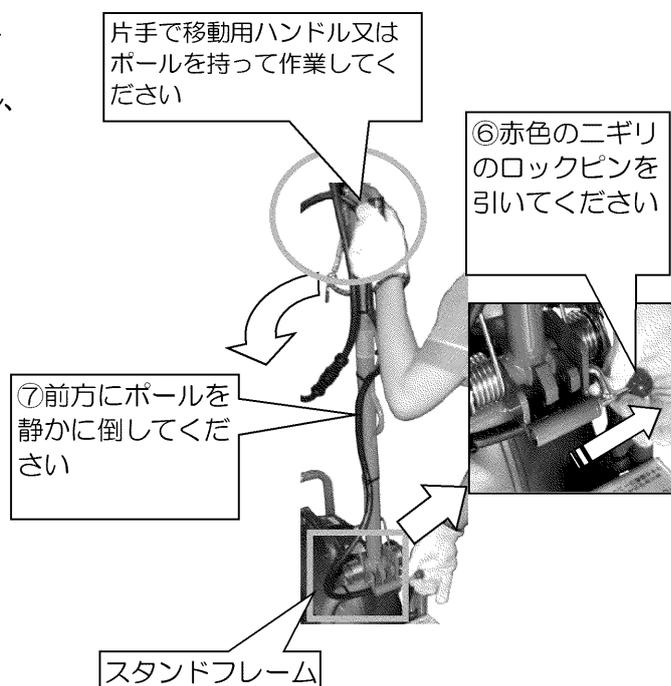
③ペダルに足をかける

5. 運転準備及び運転

- 1) アウトリガーを下ろし固定用のピンを差込んで固定してください。
- 2) 灯体部のスタンド止ハンドルを固定していない又は緩んでいる場合しっかり固定してください。
※収納時は、逆の手順で収納してください。
- 3) 灯体部とワイヤリングボックスからそれぞれ出ているケーブルを繋ぐコネクタを差し込んでください。
- 4) 発電機を運転しスイッチを『ON』にして点灯します。



- 6) 作業を終了しポールを収納する場合、スタンドフレームに組み付けている赤色の二ギリのロックピンを引きポールの前方向に静かに倒し、黒色の二ギリのロックピンを差込、Rピンを差込んで固定してください。



6. 使用上の注意点

- 1) 本機は平坦な場所でご使用ください。
- 2) 雨、強風等の天候でのご使用は御避けください。
- 3) ポールを上下するときはポールの落下を防止するため、しっかり手で押さえて高さを調整してください。
この時、ポール下部の赤い線より上に上げないでください。
- 4) 移動時はポールを下げ、灯体部を収納し移動してください。

7. 保守・点検

1) 本機の手入れについて

- 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。



注 意

ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので、使用しないでください。

2) 投光器具のLED交換について

- LED交換はできない構造です。投光器具が寿命に至った場合は、投光器具の交換を行ってください。

3) 投光器具の前面ガラス交換

- 前面ガラス交換は、お買い上げの販売店又は当社にお申し付けください。
交換作業の知識や技術のない方が交換しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やケガの恐れがあります。
※交換は当社にて作業を行います。

8. よくある質問と、その対応

よくある質問	確認場所	対応
LEDランプが点灯しない。 (投光器具関係)	発電機に投光機以外で、大きな電流を使用する電気器具を接続していないか。	投光機以外の機器の接続を外す。
	本機又は発電機のスイッチが(OFF)になっていないか。	スイッチを(ON)にする。
	結束部に外れているところはないか。	外れているところを修理する。
	発電機の電圧は正常か。 (無負荷時100/200/242V)	<ul style="list-style-type: none"> ・電圧を適正にする。 ・部品を交換する。
	商用電源に接続しても、症状が改善されない場合は、LED灯体又は電源装置の寿命が考えられます。	LED灯体又は電源装置の交換。
LEDランプが短時間で、点灯しなくなる。 (投光器具関係)	周囲の温度が高くないか。 (周囲温度40℃以上)	設置場所を変えるか、風通しをよくする。
	発電機の電圧は正常か。 (電圧が高くなっていないか、無負荷で100/200/242V)	電圧を適正にする。
	商用電源に接続しても、症状が改善されない場合は、投光器具又は電源装置の寿命が考えられます。	投光器具又は電源装置の交換。

⚠ 注意

投光機の分解は危険です。けがの無いように十分注意してください。

